



学校便り

高甫っ子

平成31年1月29日
NO 20
須坂市立高甫小学校
文責 黒岩

学校教育目標 「あすの日本をになう子ども」 たくましく かしく ほがらかな こども

热忱欢迎 武汉市洪山区武珞路小学金地分校



1月21日(月)と24日(木)に、中国の訪日旅行団との交流がありました。本校に見えたのは、武汉市洪山区武珞路小学金地分校5年生の皆さんです。玄関先では、1・2年生が両国の国旗をもってお出迎え、体育館にて全校で歓迎セレモニーを行いました。歓迎セレモニーでは、6年生が学校紹介をして、3・4年生がダンスを披露、全校で校歌斉唱と全校あげて歓迎しました。記念品交換では、本校より松代焼きのお皿を贈りました。中国からは、絹の布に描かれた「黄鹤楼」の額をいただきました。細かい筆遣いで見事なものです。その後、5年生と教室で交流しました。交流では校舎内見学、日本の遊び体験(コマ回し、けん玉、折り紙等)と一緒にしました。給食を一緒に食べてお別れをしました。



武漢市は、人口1000万人を超える大都市で、小学校の数は600余り。今回の金地分校は全校児童1000人を超す大規模校です。武漢市は、須坂市より南に位置し気候の暖かい地域です。須坂市に来て初めて雪を見たそうです。初めのうちは、お互い緊張していましたが、交流が始まると、言葉は通じなくても仲良くなれたようです。わずかな時間の中でも、国の違いを実感するいい機会となりました。

お別れの時には、折り紙で折った鯉のぼりを記念に贈りました。

記念品⇒



3・4年生のダンス



中国の小学生の校歌発表



1/20



1/24

記念の鯉のぼり⇒





1月10日～25日までの「命をみつめる旬間」に合わせて、1月22日に授業参観を行いました。今回は、性教育の授業を参観していただきました。

1年敬組は、「男の子と女の子のからだのちがいをかんがえ、自分もともだちも大切にすゝる気持ちをもとう」をテーマに、男女のちがいについて考えました。どうしても恥ずかしい気持ちから笑い出してしまう子どもたちも、命について考えることは大切なことだからということで真剣に考えました。

2年敬組では、「赤ちゃんをだっこしよう」ということで、赤ちゃん人形を実際にだっこしました。おっかなびっくりだっこしながら「あ、重い！」と、赤ちゃんの重さを実感することができました。



3年敬組では、お母さんのおなかの中の赤ちゃんの成長の過程を勉強した後に、「お母さんのおなかのなかで赤ちゃんはどうしていたのか」を考えました。

4年敬組では、「大きくなったわたし」と題して、小学校に入学してからの身長の伸びを踏まえて、これからどのくらい大きくなるか考えました。

人によって成長のしかたに違いがあることが分かりました。

5年敬組では、「身の回りの情報と私たち」と題して、身の回りに情報が溢れている。しかもその情報の中には暴力的なものや性的なもの、不愉快なものなどいろいろあることについて考えました。

6年敬組では、「雑誌に振り回される私」をテーマに、雑誌は、買う側の心理をくすぐる売側の巧妙な手口が隠されていて、情報を一方的に受け入れるのではなく正しい判断をしないと危険であるという学習をしました。

夢組では、「大切なからだ・こころ」と題して、男女のからだのちがいについて学習しました。

それぞれの学級で学年に応じた題材で命の大切さを学び、自分と同時に友達を大切に思い、ともに支え合いながら学校生活を送ることを確認することができました。



情報モラル講演会

授業参観に引き続き、体育館において「情報モラル講演会」を行いました。4～6年生の児童とたくさんの保護者にお集まりいただきお話を聞きました。講師は、セーフティーネット総合研究所の南澤信之先生で、「ネット ここがあぶない！」と題して、ネットトラブルや依存症など、具体的な事例をもとにわかりやすくお話をしていただきました。

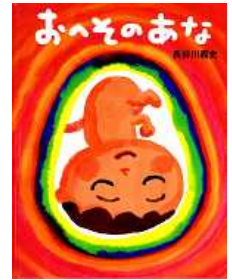
ゲーム機、音楽プレーヤー、タブレット、PC、スマホといった情報端末機を持っている人は？という質問にほとんどの子どもたちが手を上げました。わたしたちのまわりには情報が溢れています。情報は簡単に手にすることもできるし、簡単に流すこともできます。しかし、わたしたちが手にする情報はすべて正しいものとは限りません。また、知らず知らずのうちに個人情報流失していることがあるし、一度出回った情報は瞬時に拡散し簡単に消すことはできない等々、常に危険にさらされていることが分かりました。

成長途中にある小学生期に長時間画面を眺めていることは、視力に悪い影響を与えること、脳の成長に悪い影響を与えることが分かりました。もし、ネットトラブルでお困りの方は、学校までご連絡ください。



きみはキセキ

校長講話



1月10日から25日まで「命を見つめる旬間」でした。16日のかたくりの会の皆さんによる読み聞かせでは、命にかかわる本を読んでいただきました。また、それぞれの学級では、命について考えるお勉強をたくさんしましたね。

さて、今日は皆さんが生まれてきた時のことを一緒に考えてみたいと思います。まず、「おへそのあな」という本を紹介します。

お母さんのおへそのあなから赤ちゃんがそとを見ています。

- ◆お兄ちゃんなぜロボットをつくっているのかな？ 「赤ちゃんにロボットをあげるため」
- ◆お姉ちゃん、なぜお花に水をあげているのかな？ 「赤ちゃんにきれいな花を見せてあげるため」
- ◆お父さんが一生懸命つくっているのは何かな？ 「赤ちゃんのためにつくったお歌」
- ◆どうしてお母さんはたくさん食べているの？ 「赤ちゃんが元気に生まれてくるため」
- ◆みんなはどんな顔をしていた？ 「みんな笑顔！ 生まれてくるのが待ち遠しそうだね」

みんなが待ち望んでいた赤ちゃんが生まれました。

- ◆生まれてきた赤ちゃんにみんなは何て言う？ 「…」
- ◆生まれてきた赤ちゃんはみんなになんて言うと思う？ 「…」

では、この「おへそのあな」というお話を聞いて、「生まれてくる」ということはどういうことか考えてみましょう。赤ちゃんが生まれてきたらどんな気持ちになるかな？

- 「おおくの人がうれしいきもちになる。」
- 「おおくの人がかわいいと思う。」
- 「おおくの人がいっしょにいたいと思う。」
- 「おおくの人が声をかけたくなる。」

赤ちゃんはみんなを幸せにするために
生まれてくるんだね！

みんなは、お母さんのおへそのあなから外は見えたかな？ 家族の声は聞こえたかな？ 当然、みんなが生まれるときに家族中が大喜びしたはずですが。皆さんはおおくの人に望まれてこの世に生まれてきました。これはキセキなことです。去年の11月にヤマメの卵をもらってきました。孵化してから一月半ほどたちました。すでに体に斑点が見えるほど大きくなりました。水槽の中で元気に泳いでいるヤマメを見ると、こっちも元気が出てきます。



11/28



12/10



1/16

でも、ヤマメを水槽で飼うのは大変難しい。一生懸命お世話してきましたがすでに何匹も死んでしまいました。毎日、水槽を見るのが楽しみでもあり、不安でもあります。一匹でもおおくのヤマメが大きくなって、鮎川に放流できるといいなあと思います。今、3年生の皆さんが一生懸命お世話してくれています。よろしくお願ひします。

最後に、「電池が切れるまで」という本の中の「命」という詩を紹介いたします。この詩は、小学4年生という若さで病気で亡くなった宮越由貴奈さんが作った詩です。

もし、皆さんが病気やケガをしたときに誰よりもお父さんやお母さんは心配します。それは、皆さんがお父さんとお母さんのかけがえのない宝物だからです。皆さんが元気に育っていくことが、お父さんやお母さん、家族のみんなにとって何よりも大切なことであるということをお忘れずに、精一杯生きていきましょう。

かたくりの会の読み聞かせ会

- 1年 「いのちのまつり むちむぐすーじ」
- 2年 「いのちのまつり かがやいている」
- 3年 「いのちのおはなし」
- 4年 「いのちは見えるよ」
- 5年 「地域ねこのおはなし」(語り)
- 6年 「いぬとぼく おなじひにうまれた」



今年度最後のPTA理事会開催

1月25日(金)に、今年度最後のPTA理事会が開催されました。議題は、今年度のPTA活動の反省と来年度に向けてです。ほとんどの専門部会では計画された活動は無事終えることができ、よりよい活動を目指して、いくつか課題が話し合われました。

神林PTA会長より、今年度のPTA活動を振り返って、多くの会員の皆様にご協力いただき感謝します。テーマ「自分・家族・仲間をほめあえるPTA活動 ～楽しいPTA活動 活発なPTA活動 ほめ合えるPTA活動～」が十分達成することができましたと総括していただきました。また、来年度に向けて高甫小の活発なPTA活動を維持しつつ、学校の年間行事に対応しながら、よりよいPTA活動になるような工夫をしたいとしました。

学校側より来年度に関わっていくつか提案する中で、理事の皆様より、さらなる学校行事等への協力と、高甫らしいPTA活動の継続というご意見を多数いただきました。

今年度のPTA活動も残すところわずかとなりましたが、よろしくお願いいたします。



1/22 チビッコ雪かき隊

高甫小でもインフルエンザがはやり始めました。手洗いうがいをお願いします。



学校自己評価アンケートよりお答えします！

Q 先生たちは、おたより（学級・学年・学校）で、先生や学校が考えていること・情報などをわかりやすく伝えているか。

本校では、学校だよりを月2回、学級だよりを週1回をめどに発行して、学校の様子や次週の予定、連絡事項の周知に努めております。「学級たよりは毎週出してもらいたい」「学校の様子なども分かるので一親として安心できる」「学級たよりのおかげで忘れ物がなくなった」というご意見を多数いただきました。ありがとうございます。一方、「大事な情報が分かりづらい」「学校全体のおたよりが時折わかりにくいことがある。学校の行事名など聞き慣れないものもあり内容が分かりにくいことがある」というご指摘をいただきました。お便りの内容については、毎回、複数でチェックをしておりますが、紛らわしい表現や不十分な説明等、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。内容を十分吟味し、確かな情報をわかりやすくお届けするように努めて参ります。ご不明な点につきましては、遠慮なくご連絡ください。

Q PTAの様々な活動で、学校に協力することができたか。

およそ9割の方が概ね協力できているという回答をいただきました。ありがとうございます。ほかに仕事の都合で参加できなかったというご意見も若干いただきました。



年が改まり、ヤマメのお世話を3年敬組の皆さんが毎日行っています。1月18日には、千曲川漁業組合長の古谷さんが見えて、大きくなったヤマメを見て、喜んでいました。また、ヤマメの生態についてお話しいただきました。

ヤマメは3cmほどになり、昨年のイワナに比べると大きく成長しました。体に斑紋模様（パーマーク）がハッキリと現れて、光を受けてきらきら光っています。



1月19日にホクト文化ホールで開催されたボーカルアンサンブルフェスティバルに、本校のボーカルアンサンブルクラブが参加しました。高甫タッキーは三部合唱「けだものが来た」、高甫ナッキーは二部合唱「雪三題」を発表しました。どちらの発表も好評価をいただき、高甫タッキーは銀賞、高甫ナッキーは金賞をそれぞれいただきました。

ボーカルアンサンブルクラブは、このあと2月11日にメセナホールで開催される上高井教育会音楽同好会コンサートに参加する予定です。その後、3月2日に高甫地域公民館でのコンサートが最後となります。ぜひ子どもたちのきれいな歌声をお聞きください。